

レポートを発表するために準備しよう

～「書き言葉」から「話し言葉」へプレゼンテーションの仕方～

【わかりやすい伝え方のために】

1. 書いた内容を相手に理解してもらうことが大事。
→自分の書いた内容を、相手に伝わるように話す必要がある。
2. 「書いた内容」を「伝わりやすく話す順番を考えた型」に当てはめて組み立てる。



【プレゼンテーションの型】

型	型の説明	例示	話し方のヒント
O	「オリエンテーション」 相手を引き付けるための話題・テーマ。 (新聞でいう見出し。)	「私は、地球温暖化と水不足の関係ということについて、意識をするようになり、調べました。」	私は、 について、問題を感じたので、調べました。 (興味があるので)
I	「イントロダクション」 レポートテーマをズバリ一言で言う。 (新聞でいうリード文。)	「なぜそれを調べようと思ったかということ、日常の水道水をどのくらい節約すればよいかということを知りたいと思ったからです。」	なぜそれを調べようと思ったかということ、 ～という理由からです。 ～だからです。
B	「ボディ」 具体的な内容。 (新聞でいう本文。)	「調べたら、こういうことがわかりました。 まず、…… 次に、…… 最後に、……」	具体的には、次のようなことがわかりました。 一つめに、 二つめに、 三つめに、(最後に)、
C	「コンクルージョン」 結論。 (伝えたい中心のこと。調べた内容からの考察。) 終わりの言葉	「私は、これらの調べたことから、_____ _____ という結論に達しました(ということを考えました)。」「皆さんも…」「これで…」	これらのことから、私は_____ と考察しました。 皆さんも、………してみてはいかがでしょうか。 これで、………についての報告を終わります。